

平成27年度
埼玉県博物館連絡協議会
総会・見学会

資 料

日時：平成27年4月23日（木）
会場：埼玉県立歴史と民俗の博物館

平成27年度 埼玉県博物館連絡協議会 総会・見学会 次第

日 時 : 平成27年4月23日(木) 14:00~16:00

会 場 : 埼玉県立歴史と民俗の博物館 講堂

1 開 会

2 会長挨拶

3 日程説明

4 議 事

(1) 議長選出

(2) 平成26年度 事業報告について **【資料1】**

(3) 平成26年度 決算報告について **【資料2】**

(4) 平成27年度 事業計画(案)について **【資料3】**

(5) 平成27年度 予算(案)について **【資料4】**

5 報 告

(1) 平成26年度 各地域活動報告について **【資料5】**

- ・南部地域活動報告 埼玉県立近代美術館
- ・西部地域活動報告 川越市立博物館
- ・東・北部地域活動報告 埼玉県立さきたま史跡の博物館
- ・秩父地域活動報告 埼玉県立自然の博物館

(2) 新チーフ館紹介

(3) 平成26年度 各会議の活動報告について **【資料6】**

(4) その他

6 見学会 企画展「氷川神社と大宮公園」

15:00~

平成26年度 事業報告

事業	日時・会場	事業内容
役員会	4月24日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成25年度事業報告・決算報告 ・平成26年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認 ・その他
	3月25日(水) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成26年度事業報告(案)・決算報告(案)の審議・承認 ・平成27年度事業計画(案)・予算(案)の質疑・承認 ・その他
総会	4月24日(木) (52人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成25年度事業報告・決算報告 ・平成26年事業計画(案)・予算(案)の審議・承認
地域チーフ館会議	6月26日(木)・3月3日(火) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・各地域の活動状況の報告と問題点について ・埼玉博連の加盟促進について
研究会	7月25日(金) (21人) 郵政博物館	・講演「「郵政博物館」新規オープンまでの軌跡」 講師：井上 卓朗氏 (郵政博物館主席資料研究員)
	11月11日(火) (33人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・講演「文学館を魅力アップさせる方法-運営方針と事業計画」 講師：生田 美秋氏 (世田谷文学館学芸部長)
資料保存研修会 (文化財レスキュー・防災研修会)	2月5日(木) (39人) ※文保協、埼玉協との共催 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・講演「東日本大震災からの復興 桜川市真壁伝統的建造物群保存地区と周辺の登録文化財の場合」 講師：仁平 昌則氏 (桜川市教育委員会文化財課)
見学会	4月24日(木) (52人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展「屋根裏部屋の博物館—Attic Museum—」見学
	7月25日(金) (21人) 草加市、墨田区方面	・草加市立歴史民俗資料館 見学 ・郵政博物館 見学
	11月11日(火) (33人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展「甞る鉄剣」見学
県外研修会	10月1日(水) (38人) 栃木県方面	・栃木県日光自然博物館 講師：天谷業務部長 ・日光東照宮宝物館 講師：学芸員 山下 留望氏 ・日光田母沢御用邸記念公園 講師：主査 鈴木 孔二氏
地域会議	随時	・各地域チーフ館が主催運営
IT運営委員会	1月30日(金) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・埼玉県博物館連絡協議会ホームページの運営、ホームページ内容の充実化、平成27年度活動内容について
加盟館園職員名簿	6月24日(火)	・加盟館園職員名簿のデジタルデータを作成し配布
埼玉博連加盟館マップ	10月17日(金) 発行	・埼玉県博物館連絡協議会加盟各館園の所在地および概要を紹介したパンフレットを印刷、配布
緊急時相互支援 検討委員会	4月24日(木)・2月5日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・緊急時対応者名簿等の作成について ・博物館資料情報の共有化、緊急時相互支援事業案、災害時ネットワークの構築等について

平成26年度 埼玉県博物館連絡協議会 決算報告

(収入の部) (単位:円)(下段のかっこはH25年度)

項目	予算額	収入額	比較増減額	備考
会費	974,000 (940,000)	974,000 (944,000)	0 (4,000)	21,000 × 14 館 = 294,000
				14,000 × 15 館 = 210,000
				10,000 × 47 館 = 470,000
参加費	30,000 (30,000)	66,000 (62,000)	36,000 (32,000)	1,000 × 24 人 = 24,000
				3,000 × 14 人 = 42,000
雑収入	104 (63)	123 (104)	19 (41)	預金利子
繰越金	590,070 (464,832)	590,070 (464,832)	0 (0)	
計	1,594,174 (1,434,895)	1,630,193 (1,470,936)	36,019 (36,041)	

(支出の部) (単位:円)(下段のかっこはH25年度)

項目	予算額	支出額	執行残	備考
旅費	20,000 (20,000)	940 (4,400)	19,060 (15,600)	役員・委員 旅費 940
事務費	97,000 (206,000)	71,323 (159,487)	25,677 (46,513)	通信運搬費 12,760
				消耗品費 4,860
				インターネット回線使用料 46,061
				サーバーレンタル料 7,642
事業費	888,000 (742,000)	785,413 (666,979)	102,587 (75,021)	県外研修会費 181,574
				地域別連絡協議会費 228,000
				研究会費 7,071
				緊急時相互支援検討委員会費 1,460
				広報イベント費 367,308
報償費	90,000 (90,000)	30,000 (50,000)	60,000 (40,000)	講師謝金 30,000
予備費	499,174 (376,895)	8,532 (0)	490,642 (376,895)	
計	1,594,174 (1,434,895)	896,208 (880,866)	697,966 (554,029)	

(収支の部) (単位:円)(下段のかっこはH25年度)

収入済額	1,630,193 (1,470,936)	
支出済額	896,208 (880,866)	
差引残額	733,985 (590,070)	(次年度へ繰り越し額)

監査報告

上記のとおり相違ありません

平成27年 4月15日

板倉克己



平成27年 4月15日

栗本広彦



平成27年度 事業計画（案）

事業	日時・会場	事業内容
役員会	4月23日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成26年度事業報告・決算報告 ・平成27年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認 ・その他
	3月中旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成27年度事業報告(案)・決算報告(案)の審議・承認 ・平成28年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認 ・その他
総会	4月23日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成26年度事業報告・決算報告 ・平成27年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認
地域チーフ館会議	6月下旬・2月下旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・各地域の活動状況の報告と問題点について ・埼玉博連の加盟促進について
研究会	7月下旬 未定	・演題、講師未定
	11月下旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・演題、講師未定
資料保存研修会 (文化財レスキュー・防災研修会)	2月中旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・演題、講師未定。文化財保護協会・埼玉県地域史料保存活用連絡協議会との共催予定。
見学会	4月23日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・企画展「氷川神社と大宮公園」見学
	7月下旬 城西大学水田美術館	(前期研究会会場館の展覧会にあわせて)
	11月下旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展「慈光寺」見学
県外研修会	9月下旬	・会場未定(都内方面)
地域会議	随時	・各地域チーフ館が主催運営
IT運営委員会	6月下旬、その他随時 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・埼玉県博物館連絡協議会ホームページの運営、ホームページ内容の充実化 ・6月、アンケート実施 ・年度内に埼玉博連SNSアカウント(Twitter)取得
加盟館園職員名簿	6月下旬発行	・加盟館園職員名簿のデジタルデータを作成し配布
埼玉博連加盟館マップ	8月下旬発行	・埼玉県博物館連絡協議会加盟各館園の所在地および概要を紹介したパンフレットを印刷、配布
緊急時相互支援検討委員会	6月上旬・2月中旬、その他随時 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・緊急時対応者名簿等の作成について ・博物館資料情報の共有化 ・災害対策準備金の運用規則、災害時ネットワーク構築の検討

【資料4】

平成27年度 埼玉県博物館連絡協議会予算(案)

1. 一般会計

(収入の部)

(単位:円)

項目	H26予算額	H26決算額	H27予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH26予算)
会費	974,000	974,000	974,000	0	21,000 × 14 館 = 294,000 (294,000) 14,000 × 15 館 = 210,000 (210,000) 10,000 × 47 館 = 470,000 (470,000)
参加費	30,000	66,000	0	△ 30,000	非会員は入館料を徴収
雑収入	104	123	123	19	預金利子
繰越金	590,070	590,070	733,985	143,915	
計	1,594,174	1,630,193	1,708,108	113,934	

(支出の部)

(単位:円)

項目	H26予算額	H26決算額	H27予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH26予算)
旅費	20,000	940	50,000	30,000	役員・委員・事務局 旅費 50,000 (20,000)
事務費	97,000	71,323	104,000	7,000	通信運搬費 20,000 (20,000) 消耗品費 20,000 (20,000) インターネット回線使用料 54,000 (47,000) サーバーレンタル料 10,000 (10,000)
事業費	888,000	785,413	864,000	△ 24,000	県外研修会費 100,000 (150,000) 地域別連絡協議会費 304,000 (228,000) 研究会費 10,000 (10,000) 緊急時相互支援検討委員会 50,000 (100,000) 広報イベント費 400,000 (400,000)
報償費	90,000	30,000	90,000	0	講師謝金 90,000 (90,000)
繰出金	0	0	100,000	100,000	特別会計へ繰出 (0)
予備費	499,174	8,532	500,108	934	(499,174)
計	1,594,174	896,208	1,708,108	113,934	

2. 特別会計

(収入の部)

項目	H26予算額	H26決算額	H27予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH26予算)
繰入金	0	0	100,000	100,000	(0)

(支出の部)

項目	H26予算額	H26決算見込	H27予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH26予算)
災害対策準備金	0	0	100,000	100,000	(0)

○予算案の内容

・会費収入比較増減	特になし				
・地域別連絡協議会費	304,000円	【内訳】	76館 × 4,000円		
・緊急時相互支援検討委員会	50,000円	【内訳】	消耗品購入及び文化財レスキューに関する 研修旅費等		
・広報イベント費内訳 埼博連加盟館マップ作成	400,000円	【内訳】	76館 × 180部 + 予備1,320部 = 15,000部(発送費込)		

平成26年度 南部地域 活動報告

(チーフ館：県立近代美術館)

1 会議

名 称	開催月日(曜日)	議 題	備考(会場等)
なし			

2 活動・事業等

名 称	概 要
第1回研修会	<p>1 日 時 平成26年11月2日(日) 9:55～17:00</p> <p>2 内 容 「織のみちー双子織のルーツを訪ねる」</p> <p>第1回研修会は、当館を含む県内5つの公立美術館が連携して組織している「あなたとどこでもアート実行委員会/SMF (Saitama Muse Forum)」が主催するリサーチプログラムに参加する形での開催とした。</p> <p>旧塚越村(現蕨市)から伝わり、川口織物業の基礎となった「双子織」。学識者とともに織物業隆盛の跡を辿り、精緻な縞模様ファッションとそこから広がる織物文化の魅力を探った。各会場においては、講師の方が織物の知識がない素人にも分かりやすく説明をしてくださり、県内の織物の歴史について再発見させられる意義深い研修会となった。</p> <p>3 会 場 (※各会場間の移動は、借り上げバス)</p> <p>(1) 川口市立アートギャラリー・アトリア(川口市並木元町1-76)において埼玉の織物業についての講義・見学</p> <p>(2) 公益財団法人河鍋暁斎記念美術館(蕨市南町4-36-4)において河鍋暁斎についての講義・見学</p> <p>(3) 蕨市立歴史民俗資料館(蕨市中央5-17-22)(本館・分館)において蕨市の織物史についての講義・見学</p> <p>(4) サイボー株式会社工場跡地(川口市内) 見学</p> <p>講 師：田村 均(埼玉大学教授/織物史研究)</p> <p>現地解説：佐藤直哉(蕨市立歴史民俗資料館学芸員)</p> <p>吉田金造(吉田織物代表/双子織復興活動)</p> <p>協 力：はたごっこ(機織り活動/双子織復興活動)</p> <p>河鍋楠美(公益財団法人 河鍋暁斎記念美術館館長)</p>
第2回研修会	<p>1 日 時 平成27年1月21日(水) 14:00～15:30</p> <p>2 会 場 埼玉県立近代美術館(さいたま市浦和区常盤9-30-1) 3階 会議室</p> <p>3 内 容 「情報発信ツールとしてのツイッターの活用について」</p> <p>講師：大岩 弘子</p> <p>(Twitter Japan 株式会社 メディア事業部 アート&カルチャー担当)</p> <p>第2回研修会は、SNSツールのひとつである「ツイッター(Twitter)」を利用して、公式HPのほかに日々の細かい情報発信手段としての活用方法について、ツイッター社の方から直接お話をいただける貴重な機会となった。情報発信・拡散の効果とともに、セキュリティ上の注意点などについても説明があり、実務的にも充実した研修会となった。</p>

3 その他特記すべき事項

なし

平成26年度 西部地域 活動報告

(チーフ館：川越市立博物館)

1 会議

名 称	開催月日(曜日)	議 題	備考(会場等)
総会	4月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年度事業報告及び決算報告について ○平成26年度事業計画(案)及び予算(案)について ○平成26年度加盟館園連携事業について ○平成26年度役割分担について 埼博連理事館の選出、継続委員の承認 ○西部地域会議の今後の活動について 	川越市立博物館

2 活動・事業等

名 称	概 要
研修会 (7月16日実施)	一般研修 講師 柳戸信吾氏(飯能市郷土館館長) <ul style="list-style-type: none"> ○「地域における博物館について」 ○「飯能市郷土館の運営方針について」 <ul style="list-style-type: none"> ○意見交換 「地域博物館とボランティアについて」

3 その他特記すべき事項

とくになし

平成26年度東・北部地域 活動報告

(チーフ館：埼玉県立さきたま史跡の博物館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
総会	5月28日(水)	①平成25年度事業報告・決算報告 ②平成26年度事業計画・予算案審議 ③ブロック加盟館園事業「スタンプラリー」について ④各加盟館園事業計画 ⑤行田市郷土博物館常設展示見学	行田市郷土博物館
加盟館園会議	11月19日(水)	①「スタンプラリー」実施結果について ②平成27年度「スタンプラリー」について ③鉢形城歴史館特別展見学(地域館園研修会)	鉢形城歴史館

2 活動・事業等

名称	概要	
スタンプラリー	①東部・北部ミュージアムスタンプラリーの実施 7月19日～11月30日 スタンプラリー台紙を加盟各館へ合計5000枚配布	
地域館園研修会	②11月19日(水) 鉢形城歴史館特別展示の見学 「鉢形城歴史館開館10周年記念特別展 関東三国志一越相同盟と北条氏邦一」	鉢形城歴史館

3 その他特記すべき事項

<p>11月の加盟館園会議では、平成27年度のスタンプラリーの進め方について、主に話し合いがもたれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンプを10か所程度に増やしてはどうか。 ・現在行っている東・北のブロックのスタンプのしぼりをなくしてはどうか。 ・台紙の枚数を増やしてはどうか。 ・プレミアム感のある記念品を工夫できないか。

平成26年度 秩父地域 活動報告

(チーフ館：県立自然の博物館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
地域館会議	1月29日(木)	①平成26年度実施事業について ②平成27年度事業予定について	自然の博物館

2 活動・事業等

名称	概要
スタンプラリー	<p>秩父地域加盟館9館のうち4館に入館した人に景品(オリジナルTシャツ)を差し上げた。2014年は秩父札所の午歳総開帳に当たったため、博物館と札所案内をセットにした地図を作製して広報した。</p> <p>期間は5月のゴールデンウィーク明けから、8月23日(日)とした。25・26年度継続事業として位置付けている。</p> 

3 その他特記すべき事項

なし

【資料6-1】

平成27年3月18日

埼玉県博物館連絡協議会長 様

I T運営委員会委員長
澤柳 秀実

平成26年度I T運営委員会の活動について（報告）

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1. 委員会の実施日時

平成27年1月30日（金）

2. 委員会の構成

委員長	さいたま市立博物館	澤柳 秀実	南部地区
委員	川越市立美術館	山田 明子	西部地区
委員	富士見市立難波田城資料館	早坂 廣人	西部地区
委員	行田市郷土博物館	澤村 怜薫	東・北部地区
委員	県立自然の博物館	奥村 みほ子	秩父地区
委員	県立歴史と民俗の博物館	川上 由美子	埼玉県博物館連絡協議会 事務局次長

事務局：県立歴史と民俗の博物館（企画担当：内田、浦木）

3. 活動報告

- (1) 埼玉博連ホームページ内「ブロック別活動」の掲載について
平成26年度の各ブロックの活動内容を埼玉博連ホームページ上で公開した。
- (2) データベースリンク集の更新について
昨年度公開以降、新たに公開した館がないか調査し、適宜更新した。
- (3) SNS利用状況について
県立自然の博物館でのツイッター利用状況の報告等の後、加盟館園へのSNS利用状況調査および埼玉博連としてSNS（特にツイッター）を導入することについての方向性を協議し、来年度具体的な検討を行うこととした。
- (4) 旧埼玉博連用パソコンの廃棄について
昨年度更新するまで使用していたデスクトップパソコンとディスプレイを廃棄した。

以上

【資料6-2】

平成27年3月25日

埼玉県博物館連絡協議会長 様

緊急時相互支援検討委員会委員長
杉山 正司

平成26年度緊急時相互支援検討委員会の活動について（報告）

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1 委員会の実施日時

第一回 平成26年4月24日（木） 12時30分から12時50分まで（臨時開催）
第二回 平成27年2月5日（木） 11時00分から12時00分まで

2 委員会の構成

委員長	歴史と民俗の博物館副館長	杉山正司	埼玉県博物館連絡協議会事務局長
委員	県立文書館主任学芸員	前田芳江	南部地区
委員	毛呂山町歴史民俗資料館係長	佐藤春生	西部地区
委員	鉢形城歴史館館長	石塚三夫	北部地区
委員	宮代町郷土資料館主任学芸員	横内美穂	東部地区

事務局：歴史と民俗の博物館（企画担当、資料調査活用担当）

3 報告

(1) 緊急時対応者名簿の作成について

埼玉県博物館連絡協議会（以下埼玉博連という）加盟館園職員名簿に「緊急時対応」欄を創設し、各館担当者（「正」「副」）を記載した。

(2) 博物館資料情報の共有化について

「収蔵資料及び所在情報一覧」については簡便化する方向で継続審議。

(3) 緊急用梱包材等の備蓄について

実際に必要になる物品が館の性格により異なることや経年による変質、保管場所の確保等、現物での備蓄には問題があると考えられるので、埼玉博連では梱包材等の備蓄は行わない。

(4) 緊急時相互支援事業案について

緊急用梱包材等の備蓄を行わないかわり、災害時の緊急支援に用いる特別会計「災

【資料6-2】

害対策準備金」を設立し、毎年10万円の積立を行う。特別会計は旅費・役務費・レスキュー用資材購入費等に用いることとするが、取扱要項や準備金の管理等については継続審議。

また、災害時ネットワークの構築を次年度以降検討する。

(5) 情報収集について

平成26年5月20日、埼玉県文化財保護協会と埼玉県地域史料保存活用連絡協議会埼玉博連の3団体で、県内の文化財レスキュー体制構築について意見交換を行った。また、平成27年2月14日、神奈川県博物館協会第4回研修会「災害時文化財レスキューを考える―神奈川県博物館協会総合防災計画策定に向けて―」（於、神奈川県立歴史博物館）に事務局幹事が参加。近隣県等の文化財レスキュー体制について情報収集をした。

(6) 研修会の実施について

名 称：平成26年度文化財レスキュー・防災研修会

日 時：平成27年2月5日(木) 13:00～16:00

テーマ：「東日本大震災からの復興 桜川市真壁伝統的建造物群保存地区と周辺の登録文化財の場合」

共 催：埼玉県文化財保護協会、埼玉県地域史料保存活用連絡協議会

会 場：県立歴史と民俗の博物館講堂

参加人数：39名

以上

平成26・27年度埼玉県博物館連絡協議会役員

会 長	埼玉県立歴史と民俗の博物館（南部）	（館長： 代島 常造）
副 会 長	川口市立アートギャラリー・アトリア（南部）	（館長：山下 浩文）
副 会 長	八潮市立資料館（東・北部）	（館長： 鈴木 博）
監 事	（公財）学校給食歴史館（南部）	（理事長：板倉 克己）
監 事	行田市郷土博物館（東・北部）	（館長： 栗本 広宣）
役 員	埼玉県立嵐山史跡の博物館（西部）	（館長： 書上 元博）
役 員	坂戸市立歴史民俗資料館（西部）	（館長： 加藤 恭朗）
役 員	三芳町立歴史民俗資料館（西部）	（館長： 柳井 章宏）
役 員	吉見町埋蔵文化財センター（西部）	（教育長：久保田幸夫）
役 員	やまとーあーとみゅーじあむ（秩父）	（館長： 富田 孝）

平成26・27年度 各地域チーフ館園

南 部	埼玉県立近代美術館
西 部	飯能市郷土館（27・28年度） 川越市立博物館（26年度）
東・北部	埼玉県立さきたま史跡の博物館
秩父地域	埼玉県立自然の博物館

平成27年度 事務局

事務局長	杉山 正司（埼玉県立歴史と民俗の博物館副館長）
事務局次長	川上由美子（埼玉県立歴史と民俗の博物館主席学芸主幹）
幹 事	岩田 明広（埼玉県立歴史と民俗の博物館学芸主幹）
幹 事	二階堂 実（埼玉県立歴史と民俗の博物館主任専門員兼学芸員）
幹 事	小林 剛（埼玉県立歴史と民俗の博物館主事）

平成27年度 埼玉県博物館連絡協議会 総会・見学会 参加者名簿

	館園名	参加者職名	参加者氏名
1	朝霞市博物館	主任兼学芸員	江原 順
2	跡見学園女子大学花蹊記念資料館	学芸員	中出ひとみ
3	入間市博物館 ALIT(アリット)	館長	西海 啓祐
		副主幹	梅津あずさ
4	うらわ美術館	副館長	星野 務
5	桶川市歴史民俗資料館	館長	橋本 富夫
		主任	紅谷 有美
6	春日部市郷土資料館	主任	斉藤 律子
7	(公財)埼玉県学校給食会 学校給食歴史館	理事長	板倉 克己
		館長	大澤 次夫
8	上里町立郷土資料館	参事	丸山 修
9	川口市立アートギャラリー・アトリア	課長補佐(館長)	山下 浩文
10	川口市立科学館・サイエンスワールド	副館長	金子 宏章
11	川口市立文化財センター分館郷土資料館	主任	谷川 隼也
12	川越市立博物館	館長	田中 信
		副主幹	天ヶ嶋 岳
13	行田市郷土博物館	館長	栗本 広宣
		副館長	鈴木紀三雄
14	久喜市立郷土資料館	担当主査兼学芸員	池尻 篤
15	熊谷市立熊谷図書館 美術・郷土資料展示室	美術、郷土係長	柳 光枝
16	埼玉県平和資料館	主査	猪熊 孝文
17	埼玉県立川の博物館	館長	平山 良治
		統括マネージャー	二川真一郎
18	埼玉県立近代美術館	主任専門員	飯田 容崇
19	埼玉県立さきたま史跡の博物館	副館長	西島 和夫
		担当課長	向井 隆盛
20	埼玉県立自然の博物館	学芸員	木内加奈子
21	埼玉県立文書館	古文書担当課長	前田 芳江
22	埼玉県立嵐山史跡の博物館	副館長	小久保達夫
23	埼玉県立歴史と民俗の博物館	館長	代島 常造
24	さいたま市大宮盆栽美術館	副館長	田口 勝一
25	さいたま市立博物館	館長	小倉 均
26	さいたま市立漫画会館	館長	石黒 達夫
27	坂戸市立歴史民俗資料館	主任	藤野 一之
28	秩父美術館・仏教資料館	学芸員	西 勝寿
29	鉄道博物館	副館長	荒木 文宏
30	戸田市立郷土博物館	主事	吉田 幸一
31	(公財)長島記念館	常務理事	田沼 利将
32	鉢形城歴史館	館長	石塚 三夫
33	羽生市立郷土資料館	館長	加藤 圭一
34	飯能市郷土館	館長	柳戸 信吾
35	富士見市立資料館(分館)難波田城歴史館	主査	早坂 廣人
36	ふじみ野市資料館(ふじみ野市立大井郷土資料館)	主任	國分 英良
37	文化施設建設準備室((仮称)岩槻人形会館)	主査	粕谷 英司
38	宮代町郷土資料館	主任兼学芸員	横内 美穂
39	三芳町立歴史民俗資料館	主任兼学芸員	越前谷 理
40	毛呂山町歴史民俗資料館	主事	有山 佳孝
41	八潮市立資料館	館長	鈴木 博
42	(財)山崎美術館	館長	山崎登貴子
43	吉見町埋蔵文化財センター	係長	太田 賢一
44	日本万華鏡博物館	館長	大熊 進一
45	草加市立歴史民俗資料館	職員	中澤 有香